

苫小牧市教育委員会会議録

会 議 区 分	苫小牧市教育委員会 第 9 回 定例委員会
日 時	令和4年9月22日 自 15時10分 至 16時00分
場 所	市役所本庁舎5階第2応接室
出 席 委 員	教 育 長 福 原 功 委 員 佐 藤 郁 子 委 員 齋 藤 智 子 委 員 岡 田 秀 樹 委 員 高 橋 憲 司
欠 席 委 員	
会議録署名委員	齋 藤 智 子 委員
会議録作成職員	総務企画課主事 竹 中 響 紀
事 務 局 職 員	教 育 部 長 山 口 朋 史 教 育 部 次 長 山 地 吉 明 教 育 部 次 長 齋 藤 貴 志 教 育 部 参 事 池 田 健 人 教 育 部 参 事 桑 島 久 典 学 校 教 育 課 長 神 保 英 士 生 涯 学 習 課 長 河 本 充 教 学 校 給 食 共 同 調 理 場 長 杉 本 貴 浩 学 校 給 食 共 同 調 理 場 副 場 長 小 堀 綾 子 総 務 企 画 課 長 補 佐 猿 田 秀 一 総 務 企 画 課 主 査 矢 部 妙 子 総 務 企 画 課 主 査 安 藤 龍 慧 総 務 企 画 課 主 事 竹 中 響 紀
会 議 案 件	別紙のとおり
会議の経過概要	別紙のとおり

1 委員会開会の宣言（福原教育長）・・・15時10分
2 会議録署名委員の指名（齋藤智子委員）
3 会議録の承認
（福原教育長） 第8回定例教育委員会（令和4年8月19日開催）の会議録について、このとおり調製することとしてよろしいでしょうか。
（一同「はい」の声）
-会議録どおり承認-
4 教育長の報告
（福原教育長） 始めに、8月23日に滝川市で開催された「令和4年度北海道都市教育委員会連絡協議会定期総会」はお疲れ様でした。後ほど、分散会での様子などについて、各委員さんからコメントをいただきたいと思います。
8月25日に胆振管内での開催は14年振りとなる「北海道教育委員会移動教育委員会」が白老町で開催され、倉本教育長のほか4名の教育委員による会議の様子を傍聴したほか、胆振教育局の針ヶ谷局長から「胆振の教育概況について」報告がありました。その後、「地域と連携した教育活動」をテーマに、北海道教育委員会及び胆振管内教育関係者との意見交換が行われ、私どもとしましては、「学校運営」の中で、伊達市教委のCSの実践についての取組事例に対し、本市のCSを進めていく上での課題や令和5年度に全中学校区への導入に向けて進めている現状について述べたところ

ろでございます。

次に、先週14日の教育推進企画会議の出席ありがとうございました。

この会議で、教育委員、小中校長会、市教委による意見交換は初の試みと聞いていましたが、それぞれに、意見、提案、質問など、充実した意見交換だったと思います。

教育大綱の改訂、さらには実効性のある苦小牧らしい学校教育推進計画の策定に向けて、今後も意見交換を重ねてまいりたいと考えておりますので、よろしく願います。

次に、市議会のお話をさせていただきます。第24回市議会定例会が、9月2日に開会し15日に閉会いたしました。今議会は（先月の校長会議でもお伝えしておりましたが）、市長5期目のスタートにあたり、市長公約に基づき4年間で取り組む基本政策である「市政に臨む基本方針」演説と、この基本方針に対する各会派の代表質問が行われました。学校教育関連の主な質疑では、先週の教育推進企画会議でも議論のありました「学校教育推進計画」の位置付けや目的については、今年度改訂を予定している教育大綱の下に位置づけ、今後の目指す方向や取組の内容、目標設定などを明確にする学校教育の基本計画であること、不登校対策については、多様化する不登校要因に対し、これまでの対策に加え、学校適応指導教室の拡充、不登校対策支援員の増員、民間施設やICT活用等々、多様な支援体制の強化に取り組むこと、その他、就学援助世帯に対する英検費用補助の実施、生理の公平、平等の観点から学校トイレへの生理用品の配備、金融教育、ヤングケアラー対策、学校給食残渣のバイオガス発電事業など、今後取り組みを進める施策について説明したほか、未来を担う子どもたちが、ふるさと苦小牧をもっと知り、その将来を考え、創り出すことができるような教育について、教育長の考えを問われ、私からは、未来の苦小牧を担う人材育成が子どもの使命であり、国際港湾、国際空港を擁する北海道最大の産業拠点都市であり、自然に恵まれたふるさと苦小牧の魅力を知り、体験し、苦小牧の未来を語る人材を育成する「ふるさと教育」に力を入れたいと答えたところでございます。

また、9月12日の議案審議で、「苦小牧市教育委員会委員の任命について」、岡

田秀樹委員が令和4年10月19日をもって任期満了となるため、再び、岡田秀樹氏を任命したい提案に対し、議会の同意が得られましたので報告いたします。引き続き、よろしくお願いいたします。

報告は以上ですが、何かご質問等ございませんか。

(一同「なし」の声)

5 議 案

(福原教育長) では、議案の審議に入らせていただきますが、本日審議する議案はございません。

6 報告・協議

第1号 小中学校女子トイレへの生理用品設置について

(学校教育課長) -小中学校女子トイレへの生理用品設置について説明-

(福原教育長) 質疑に付します。何かございませんか。

(一同「なし」の声)

(福原教育長) 質疑がないようであれば、原案どおり決定することとしてよろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(福原教育長) それでは、議案第1号は原案どおり決定いたしました。

第2号 令和3年度苫小牧市学校給食会決算書について

(学校給食共同調理場長) -令和3年度苫小牧市学校給食会決算書について説明-

(福原教育長) 質疑に付します。何かございませんか。

(高橋委員) 今ほどお話しになられた繰越金の部分、今年度の中で1,300万のキャンセルについては使用しているというお話がありましたが、使い道としては追加になるのか、それとも、もともと予算があるものですので、次年度以降の中で、例えば給食費が減額になるのかなど、何か方向性を教えていただきたいのが1点と、支出項目の中の非常食という項目に40万ほど計上されており、実際は使われておりませんが、学校の中でこの項目があるということは、災害時に使用するなどの目的があると思います。その目的がもし分かるのであれば教えていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

(学校給食共同調理場長) まず、繰越の中の休校の1,300万の使い道でございますが、給食費の減額という形にはしておりません。あくまで食材費の中で、令和4年度の当初予算の中で入れさせていただきまして、それを12か月に振り分けて、それぞれ食材費に充てさせていただいているところでございます。

非常食については、今回40万円ほど予算をみております。今回は購入しなかったのですが、実は昨年、新型コロナウイルス関係の補助金を活用させていただきまして、3日分、約4万5,000食分を本市の補助金で購入しました。その使用の目的でございますが、コロナによって、例えば給食センターの稼働が止まってしまい給食が出ない、または、何かしらのことがあって献立の一部が出せないなどの非常時に使いた

<p>いと思っております。なお、市の補助金で購入しましたので、仮に大きな災害があったときには、もちろん、そこにも提供するというふうに考えております。</p>
<p>(高橋委員) ありがとうございます。</p>
<p>(岡田委員) 最近、物価が高騰している関係で、給食費について、大変ご苦労されていると思いますが、今後についてはどういう状況でしょうか。</p>
<p>(福原教育長) 物価高騰に伴って今後の関係、場長、お願いします。</p>
<p>(学校給食共同調理場長) 確かに世界情勢もございまして、物価が非常に高くなっております。今回この2,700万円という繰越金のほかに、今年度6月議会でもご承認いただいたのですが、物価高騰分ということで補助金を頂くことになっております。約2,600万円補助していただけるということで、今年度につきましてはそのような補助金も活用しながら活動していくところでございます。この先については、不透明なところございまして、どこまで物価高騰するかは正直分からないところもございまして、極力給食費は上げないようにやってまいりたいとは考えております。</p>
<p>(高橋委員) たまたま飲食に携わっているのですが、現在原価計算で、少なくとも今年の4月からもう既に平均1.2~1.3倍上がっております。それが、今回10月にまた上がります。物によっては本当に4倍ぐらいになっているものもありますので、すごく大変だと思います。恐らくこの先下がることはないというふうに私は思っておりますので、もう上げるシミュレーションも考えられたほうが、よろしいのかなと思っております。</p>
<p>(学校給食共同調理場長) すみません。ご意見ありがとうございます。まさに高橋委員のおっしゃるとおりで、先が見通せないような状況でございます。そのようなシミュレーションを始める時期かと思っておりますので、作ってまいりたいと考えております。</p>
<p>(福原教育長) 備考欄のその他の経費の印刷製本費を事務局費で対応したことについて、「その他の経費」の「その他」で、銀行利用手数料、分別用ごみ袋の一部ということが書かれていますが、これは事務局費にならないのでしょうか。いわゆるその他の経費が、ここにあるということは、親御さんから頂いたお金を使って物を買って</p>

いるということだと思しますので、その線引きというのを教えていただきたい。

(学校給食共同調理場長) 教育長がおっしゃったとおり、実は以前、学校の教室で使うごみ袋なども買わせていただきました。今年度からこの辺の費用につきましては、全て事務局費で買わせていただくというふうになっております。

(福原教育長) 先ほどの高橋委員の意見にも繋がりますが、親御さんの負担もあって、この会計が成り立っている中で、事務局運営は市から補助をもらっているというところで、そこはきちりしっかりとした考えを持っていないと、親の負担で銀行手数料を払っているのかなど、誤解を招きかねないと感じました。

(学校給食共同調理場長) 分かりました。

(福原教育長) ほか、よろしいですか。

(一同「なし」の声)

(福原教育長) 質疑がないようであれば、原案どおり決定することによろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(福原教育長) それでは、議案第2号は原案どおり決定いたしました。

第3号 教職員の事故に関する報告について

(福原教育長) 次に、議案第3号についてですが、人事案件でございますので、教育委員会会議規則第21条の規定により秘密会とし、この場合、本会議の日程の最後に審議したいと思います。よろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)
(福原教育長) それでは、議案第3号を秘密会とし、本会議の日程の最後に審議することに決定いたしました。
協議(1) 苫小牧市立美園小の校区変更について
(教育部斎藤次長) -苫小牧市立美園小の校区変更について説明-
(福原教育長) 質疑に付します。何かございませんか。
市教委のロードマップ、目標としては、令和5年4月の実施なのでしょうか。それとも、まだそこまで明確には持ってないのでしょうか。
(教育部斎藤次長) そうですね、この後、学校との通学路の調整などもあり、ただ、実際にもう入学目前にしているお子さんもいますので、できれば令和5年の4月から柔軟にできればと考えております。
(福原教育長) 2枚目の美園小学校区の5丁目の住民の方のアンケートの、反対のお二人は子供が2人なのか家庭が2人なのかは分からないのですが、ここは理由記載欄の上から3段目、4段目あたりを理由にしているのでしょうか。
(教育部斎藤次長) はい。1名は兄弟がいるので、今変えられては困るという反対意見です。もう1名は、もともと地域の住民の方で、高齢の方が美園小の規模が小さくなるのに少し反対のお気持ちがあるようで、そういったご意見でした。
(高橋委員) 本件の区域変更に関しては、ほぼほぼ見てのとおり問題はないのかなと思っておりますが、裏面のその他の美園小学校の在り方という欄には、かなり具体的にいろいろな意見が書かれていて、将来的人口ですとか中学校を含めた校区変更のことに関しても、今検討している段階という認識でよろしいですか。

(教育部斎藤次長) もう少し大きなところでの校区変更として、今回新明町の意見
もありましたが、通学路の安全性の観点から、今回三光町を整理するというので、
その逆になる新明町を検討するというのはなかなか難しいところです。当初からP T
Aの役員の方などからもそういった意見あったのですが、そこをうまくクリアできる
かどうかというのは長い視点で考えていかななくてはいけないと思っております。です
ので、今現在は考えておりません。
(高橋委員) ありがとうございます。
(福原教育長) あくまで今回は三光町の一部だから、美園小の校区や緑小の校区、
明野小の校区として考えるのではなく、独立してこの三光町5丁目を考えるというこ
とでしょうか。
(教育部斎藤次長) はい、そのとおりです。
(福原教育長) ほか、よろしいでしょうか。
(一同「なし」の声)
(福原教育長) ないようであれば、質疑を終結することとしてよろしいでしょうか。
(一同「はい」の声)
(福原教育長) それでは、協議第1号の質疑を終結いたしました。
協議(2)生涯学習の充実について
(福原教育長) 次に、協議第2号「生涯学習の充実について」を扱いたいと思いま
す。教育委員の皆さんには、8月23日滝川市で行われた北海道都市教育委員会連絡

協議会定期総会に参加していただきましたが、その分散会で「これからの生涯学習の充実について」をテーマに各市の取組や課題について意見交換をしていただきました。各グループでどのような意見が交わされたか、また本日「ナナカマド教室」も参観していただいたので、その感想などご発言いただきたいと思います。

佐藤委員からお願いいたします。

(佐藤委員) 調査票を参考にいたしまして、1テーブル10人ぐらいのグループに分かれ、それぞれの町の紹介などを説明しておりました。私もこの作っていただいた調査票に書いてあるとおりに、少々指定管理者についてなどの説明を加えながら紹介、かたがた説明しました。その中で、午前中に授業参観させていただいたのですが、ナナカマド教室に対しては、多くの都市からの委員の方が興味を示しておりまして、特に網走の教育長は、網走でも様々なカルチャースクールのようなところに、機会があるごとに参加している方たちがおり、そういう方たちもひょっとしたら勉強したいと思っているのではないかなと思いますので、帰ってからいろいろ調べてみたいと思いますとおっしゃられておりました。

それから、江別市の報告では、独特の大学連携が非常に充実しており、札幌学院大学と北翔大学と北海道情報大学がありますので、ほかの都市とは比べ物にならないぐらい様々な講座などについての活動内容の報告がありました。

苫小牧の市立図書館については、図書館は静かに本を読むというところから随分様々な機能を要求されるということも踏まえて、市立図書館でどういうことをしているのかということの説明もいたしまして、非常に羨ましがられました。以上です。

(福原教育長) ありがとうございます。

それでは、岡田委員、お願いします。

(岡田委員) 私も分散会に出席しまして、ナナカマド教室について報告いたしました。どのような教材を使用しているのかなど、大変皆さんから関心を持った質問を寄せられ、あまりほかのところではないことだというふうに思いました。

また、今日ナナカマド教室では英語と国語の講義を見させていただきまして、英語

は、実際に外国の教師の方がいろいろ教室をしており、楽しい会話形式で優しく、本
当にどなたでも楽しく授業が受けられるものとなっております。国語もそうですが、
たくさんの方に興味を持っていただけるような内容になっているなというふうに思っ
て聞いておりました。今日は8人ぐらいの方が授業に参加していらっしゃいましたけ
れども、あのような楽しい教室はもっと人数が増えてもいいのではないかと思います
ので、例えば、苫小牧ケーブルテレビで授業の様子などを皆さんに周知していただ
くとか、FMのとまこまいというのもこれからできると聞いておりますので、そうい
ったものを利用していただければいいのではないかと思います。またこれは、ナナカマド
教室だけではなく、博物館の展示会などでも、教育委員会のこういった行事の中には
とってもいい機会がたくさんありますので、それをできるだけ多くの皆さんに知って
いただいて、参加してもらえるようにしていければと思います。

(福原教育長) ありがとうございます。

それでは、高橋委員。

(高橋委員) ありがとうございます。今回初めて参加させていただきましたが、全
体の感想としては、佐藤委員がおっしゃったように、このような体制でお話をさせて
いただきましたし、ナナカマド教室は、本当に皆さんからの食いつきがあって、いろ
いろな意見を聞かれました。一番驚いたことは、オホーツクの方に位置する紋別市で
の、ふるさと納税のことでした。返礼品がホタテということで、百数十億円入ってい
るらしく、それが、市の財政として盤石なものとなっており、給食費は無料、他にも
そのお金をいろいろなことに使えるということで、本市で考えますと、10億円ぐら
いかと思いますので、すごい羨ましく思いました。すごいいいなと思いましたので、
本市でもいろいろ頑張りたいと思いました。

(福原教育長) 齋藤委員。

(齋藤委員) まず、今日のナナカマド教室の感想について述べさせていただきます。
私も岡田委員と全く同じで、本当に楽しい授業でしたので、もっともっと市民の皆さん
にも見ていただきたいなと思っていました。苫小牧ケーブルテレビは契約されてい

ない方でも大型商業施設とかで放送されています。やはり、静止画像では授業のよさがなかなか伝わらないので、もっともっと多くの市民の方にこういう授業があるんだということを見ていただきたく、見ていただくことで行ってみようというハードルが大分下がるのかなという気もいたしました。

ただ、年齢が高い方でもお仕事をされている方が多いので、日中の昼間の午前中等の時間帯だと、なかなか難しいのかなとは感じました。

また、生涯学習について、私も苫小牧市のPRというカナナカマド教室について説明をしてきました。委員の皆さんと同じような内容の話をしてきまして、多くの方に苫小牧市の活動について興味を持っていただきました。どこの町でも悩みは同じかとは思いますが、皆さんから出てくるのは、このような機会を提供しても、参加される方が限定的な点でした。それもまた共通の悩みだなと思いましたが、頻繁に生涯学習についての細かいチラシやこういった紹介のチラシを作って、あらゆる場面でそのチラシを配布し、少しでも来ていただくように頑張っているという町もあれば、内容が求められているものと市が提供しているものとのミスマッチが起こっているのかなという悩みも聞かれました。

町の規模が苫小牧市とは違うので何とも言えないのですが、小規模な市のお話を聞いたとき、生涯学習を限定的に捉えないことで、学校、地域、生涯学習がうまく回っているという感想を持ちました。例えば学校で不登校の家庭があり、親御さんがとても悩まれているという情報が、地域や学校から上がってきて、教育委員会でも把握していました。小さな市だからだとは思いますが、幼稚園から高校まで大体全てのそういった悩みを共有しており、私自身驚きましたが、生涯学習で行っているイベントへの参加を提案することできっかけを作り、お話していくことで、そのお子さんにとってよい作用につながり、登校につながっていった例もあるという話を聞きましたので、いろいろな可能性を秘めているなと感じました。

(福原教育長) ありがとうございます。

最後に、私からも感想をお話ししたいと思います。まずは、今日のナナカマド教室

やはり百聞は一見にしかずだなと思いました。これを見てから滝川へ行けばよかったですと思ったぐらいです。タイトルだけで知った顔をして滝川でお話してきましたけれど、今日初めて見て、皆さんの意見と全く同じ意見です。ただ、ALTの先生たちも結構生き生きとされていたので、何かやりようによっては、もっともっと教える側、教えてもらう側がいいものになりそうだな、すごく良い取組だなと思いました。

前後して滝川についてですが、生涯学習の充実ということで、ナナカマド教室のことも言いましたし、いわゆるセカンドブック事業や障害者へのICTの学習などいろいろお話をした中で、私は、ただこれは生涯学習の縦割りの考えではなく、これからは、まちづくりも考えた中でやっていくべきではないかと思いました。三笠の教育長さんや、もう一人、どこかの教育委員さんで元学校の先生だったという方の賛同があり、今どこの町も少子化、そして高齢化、人口減少という中で、まちづくりという部分を含めた生涯学習という観点が必要ではないかと、私の思いつきで当日お話ししたのですが、意外な賛同を得ましたので、今日ここでお話をさせていただきました。

私からは以上です。他に何かございませんか。

(なしの声)

(福原教育長) いただいたご意見を参考に、事務局には更なる生涯学習の充実をお願いしたいと思います。それでは、協議第2号の質疑を終結いたします。

これより、秘密会と決定しました報告第3号について審議をいたします。関係者以外は退席をお願いいたします。

(福原教育長) それでは、委員会を再開いたします。なお、報告第3号につきましては、報告どおり終結したことを申し添えます。

7 その他

(福原教育長) 次に、その他でございますが、事務局、委員の皆様を含めて、何かございますか。

(一同「なし」の声)

8 委員会閉会の宣言 (福原教育長)・・・16時00分